



# 日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り  
第 43 号  
2013年4月20日  
編集兼発行人  
長島 重和

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



撮影者：安田 出  
撮影日：平成 25 年 3 月 6 日  
カメラ：Nikon D300  
シャッター速度：1/800 絞り：f5.6  
焦点距離：35mm  
場所：南房総 白間津花畑  
撮影余話：日立電鉄交通サービス(株)の大型観光バスを利用しての、デジカメクラブ撮影会の白間津花畑の一景である。3月初めにも拘らず、南房総に在るここはまるで南国に似た陽気で温かく、キンセンカ、ストック、キンギョソウ、ポピーなどの花が満開であった。しかし、この日は風が強く、シャッター速度を上げての撮影となった。

## リレー随筆 (43) ポルトガルは「サウダーデの石」探し 荒井 利治



昨年 11 月電車の中で新聞を広げていた私の目が釘付けとなった。

山岳、歴史小説の大家新田次郎の急死により昭和 55 年新聞連載が中断となった小説「孤愁〈サウダーデ〉」を次男で数学者・随筆家の藤原正彦さんが遺志を継ぎ完結したとの記事。

小説はポルトガル人の外交官で日本の文化を愛した随筆家モラエスが故国を捨て、最後は徳島で妻イネの墓を守った生涯が描かれているとあった。何か大切にしていた失くし物がひょっこり出てきた感じがした。

舞台は 4 年前に遡る。私は友人 S 君と 8 泊 10 日のポルトガル旅行に参加した。一行は添乗員 T さんを含み 14 名、これに現地でガイドのモニカさんが加わった。かなり前に藤原正彦さんの随筆「父の旅私の旅」を読んだ私は、その中で「サウダーデの石」の虜になった。正彦は父急死の翌年、遺された取材ノートを頼りに父と同じ場所、同じ人物の取材のためポルトガルを周遊。コインブラの丘でテイシエイラの詩を彫った「サウダーデの石」の前でモラエスと父を偲ぶくぐり泣かせた。私はこれぞ必見の石と心に決めた。

王宮利用の大学図書館が目玉のコインブラ観光の日、T さん、モニカさんに無理を頼み、予定外の立ち寄りが決まった。ただし私がこの作家親子のいきさつを説明するのが条件だった。皆に話をしながら丘に向かう私の足取りは軽やかだった。

しかし街を一望する丘に登って驚いた。何とかかなりの数の石碑が並んでいる。前に一度だけ来たというモニカさんもあわてて探し始めた。ポルトガル語が全く

分からぬ私は茫然。時間は刻々と過ぎる。優しい S 君は「これがそれだと思えばいいよ」と見栄えの良い石を指さす。モニカさんの「見つけたわよ」の声を聞くまでかなり時間が経った気がした。

どたばたと写真を撮り下山。私の独りよがりですまらぬ石の見学に皆を付き合わせ、かつ貴重な買い物時間を奪ったのではないかと悔い悩む私の足取りは重かった。街に降り土産物店で「サウダーデの石」の絵葉書を見つけてちょっぴり安堵した。

あれから 4 年、「ある町の高い煙突」(東洋一の神峰大煙突)の新田次郎から「国家の品格」の藤原正彦への親子リレー完走の朗報。

早速「孤愁」を入手して一気に読破。モラエスの妻イネへの思慕と故国へのサウダーデに胸を打たれた。が、より以上のものが〈あとがき〉の結びだった。

『…「父の珠玉の作品を凡庸な筆で汚したかもしれない」という危惧はあるが、一つだけ確かなことは、父との約束を三十二年間かけて果たした安堵感である。』 何という異次元の重く深い安堵だろう！



「サウダーデの石」(左)の絵葉書

### 平成 25 年度茨城支部総会のご案内

1. 期日：平成 25 年 5 月 24 日 (金)  
午前 11 時 10 分～午後 2 時 30 分
2. 会場：ホテル天地閣

★詳細内容は本紙同封のご案内書を参照下さい。

技術士事務所の活動記録

《国際協力プロジェクトにコンサルタントとして》

今野 泰宏



若い時に上長の強い勧めにより「技術士」資格を取得した。技術士は弁護士・弁理士等と並ぶ

環境負荷改善への技術指導」に対し「日立技術士会賞」を受賞した。以下活動の状況を紹介する。

設備の建設を推進する一方、電力供給不足対策として既設火力発電設備の改修、老朽設備の延長を図っている。



インド：ロシア製 21 万 kW タービン診断風景

めた。中国の診断時には、唐山火力一、二号機の設計を担当したと自己紹介すると必ず好意的な対応を受けた。二〇一〇年唐山大地震三十四周年の日に唐山発電所を慰霊訪問し、訪問記を「ぼんぼん第二九五号」に掲載した。

インドでは入社初めての海外出張時に覚えたカタコトのヒンズー語がまだ通じること、四十年前に担当したコタグデム発電所の日立タービンに再会できたことが嬉しかった。一昨年の東日本大震災時には中国、インドの技術者達から慰問メールを受取り、友好の輪の広がりを実感した。

モンゴル電力分野の改善可能性調査

二〇一二年度は「モンゴル国の電力部門の現状と改善可能性調査」に参加した。石炭火力発電設備(総容量九十万kW弱)はすべて熱電併給型で、住民に暖房用熱水も供給し生命線を握る重要な設備であるが、建設後四十年と老朽化し対策が急がれている。

火力関係業務は三十年近く実務から離れていたが、東京電力鹿島火力発電所の運転直員として研修したこと、カナダNB州電力局に駐在勤務したことなど、若い時に苦労して学んだ技術・知識はまだ十分に通用している。この年齢で国際協力業務に貢献できるのは有難く、顧客からの信頼と家族の支援に感謝している。



モンゴル大草原にて乗馬を楽しむ筆者

二〇〇五年五月、会社生活卒業を機に「今野技術士事務所」を開設した。事務所は生涯学習の場と考え、①好奇心と問題意識、②時勢に乗り遅れない感性、③固定観念からの脱却、④夢とロマンの追求、を心構えとしていく。技術士の仕事を通じて現役時代の多くの知人に助けられることが多く、人々との絆の大切さを痛感している。

環境負荷改善への技術指導」に対し「日立技術士会賞」を受賞した。以下活動の状況を紹介する。

設備の建設を推進する一方、電力供給不足対策として既設火力発電設備の改修、老朽設備の延長を図っている。

このような状況下、国の国際協力事業の一環として(財)石炭エネルギーセンターは、各国の既設石炭火力発電設備の効率改善と環境改善に協力し、日本企業のビジネス協力につながる仕組みを構築すべく取組んでいる。この国際協力事業は二〇〇七年、中国の一九八〇〜一九九〇年代に建設された既設石炭火力発電設備を対象に開始され、更にインド、インドネシア等に展開している。

この事業に最初から参加した。主な業務内容は、ボイラ、蒸気タービン及び補機など発電設備の標準診断マニュアル作成、日本電力会社と共に診断実施、課題抽出と改善提案、日本技術の提案などである。二〇〇七〜二〇〇九年度に中国発電所十カ所(二十万kW級)、二〇一〇〜二〇一二年度にインド発電所五カ所(二十一万kW及び五十万kW)の診断に参画した。



庄山日立技術士会会長より「日立技術士会賞」を受賞

ここ数年、海外のエネルギー・環境問題に関心をもち、関連する国際協力事業に参加してきた。二〇一二年四月「海外既設石炭火力発電設備の効率改善と

環境負荷改善への技術指導」に対し「日立技術士会賞」を受賞した。以下活動の状況を紹介する。

設備の建設を推進する一方、電力供給不足対策として既設火力発電設備の改修、老朽設備の延長を図っている。

この事業に最初から参加した。主な業務内容は、ボイラ、蒸気タービン及び補機など発電設備の標準診断マニュアル作成、日本電力会社と共に診断実施、課題抽出と改善提案、日本技術の提案などである。二〇〇七〜二〇〇九年度に中国発電所十カ所(二十万kW級)、二〇一〇〜二〇一二年度にインド発電所五カ所(二十一万kW及び五十万kW)の診断に参画した。

この事業に最初から参加した。主な業務内容は、ボイラ、蒸気タービン及び補機など発電設備の標準診断マニュアル作成、日本電力会社と共に診断実施、課題抽出と改善提案、日本技術の提案などである。二〇〇七〜二〇〇九年度に中国発電所十カ所(二十万kW級)、二〇一〇〜二〇一二年度にインド発電所五カ所(二十一万kW及び五十万kW)の診断に参画した。

今野 泰宏氏 連絡先  
〒316-0023 日立市東大沼町 3-26-31  
電話 0294-34-4191  
メール yasukono@comet.ocn.ne.jp

# 同好会活動報告 (1/2)

## 1. 研修会

平成24年度は3回の研修会を実施しました。

- (1) 第52回研修会(H24. 6. 22) 40名参加  
つくば学園都市の高エネルギー加速器研究機構、地図と測量の科学館、産業技術総合研究所の「地質標本館」と「サイエンス・スクエアつくば」の見学
- (2) 第53回研修会(H24. 8. 5) 37名参加  
5月に開業した東京スカイツリーと東京タワー、東京ゲートブリッジの見学と浅草散策



- (3) 第54回研修会(H24. 11. 30) 38名参加  
鹿島臨海工業地帯の花王(株)鹿島工場、鹿嶋RDFセンター、風力発電のサミットウインドパワー(株)鹿嶋発電所の見学と鹿島神宮参拝

## 2. 歴史探訪

昨年4月26・27日、出羽の国、庄内・鶴岡を巡りました。第1日目は、即身仏を祀る「海向寺」、豪農の面影が残る「本間家」と「山居倉庫」を巡り、夜は、羽黒山山麓の修験者の宿「宮田坊」に泊まりました。第2日目は、朝、厳かに祈禱を受け、鶴岡市へ向かい、200年前の藩校「藩校致道館」と庄内藩主酒井家の居城「鶴ヶ岡城址」を巡り、最後は、「藤沢修平」記念館を見学し有意義な探訪を終えました。



本グループは昨年6月付けで発展的解消し、「研修会」グループと併合して運営することになりました。

## 3. 歩こう会

昨年の大震災で中止した桜花ウォークを復活しました。参加者が高齢化してきましたので、楽しく参加していただけるように比較的平坦地を選定しています。

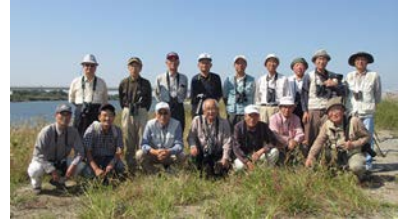
今年は県北ジオパークに指定された6箇所の内3箇所を選定して、歩きながら地球の成り立ちについても思いを馳せた行事になりました。



- |                  |           |     |
|------------------|-----------|-----|
| 第48回 H24. 4. 11  | 宍戸の枝垂れ桜   | 43名 |
| 第49回 H24. 6. 13  | 袋田の滝ジオパーク | 30名 |
| 第50回 H24. 9. 26  | 平磯海岸を歩く   | 44名 |
| 第51回 H24. 11. 15 | 北茨城海岸を歩く  | 32名 |

## 4. 野鳥・自然観察グループ

本グループは、8月を除いて毎月1回探鳥会を行っています。主に県北地方の公園やダム、河川敷などを拠点とし、平成24年度は水沼ダム、大北川、御前山、栗原、赤羽根緑地、小山ダム、久慈川河口、千波湖、潤沼で探鳥会を実施しました。参加人員は延べ161名、探鳥成果は1回当たり平均37種でした。私達は愛らしい或いは壮観な野鳥ばかりではなく、野原に何気なく咲く山野草等を愛する集団でもあります。ウォーキングも兼ね自然満喫のこの会に是非お気軽に参加下さい。大歓迎です。



## 5. 囲碁の会

囲碁の会は日立地区では同好会本部で月2回(第2、第4水曜日)・勝田地区では大島コミセンで月1回(第3木曜日)開催し、互いに棋力の向上に努めています。更に、3ヶ月に1回それぞれの地区で大会を開催して、その成果を競い合っています。対局は点数制を採用して、実力に応じたハンディで対戦できるため、気楽に誰とでも対戦でき、持ち点の上下の楽しみがあります。

囲碁は脳の活性化にも大変有効な手段であり、楽しみながら老化防止にも役立ちます。囲碁に興味のある方やこれから始めたい方は是非、お立ち寄り下さい。



## 6. 料理教室

年間開催回数は22回を予定していたが、先生の足の骨折で3ヶ月半中止、その間東京ガスにお世話になり2回開催できた。また、雪の影響での中止が2回もあり、今年度は18回にとどまった。しかし、年末の忘年パーティが開催できたのが、楽しみの一つであった。

今年の料理教室の参加者の累計は153名(平均9名)で勉強には最適の人員でした。更に、努力家の先生が新たに勉強してきたパン作りを習得することができた。高齢化を迎え、胃袋にやさしいパン作りの勉強を4月から始めてはいかがですか? 奥さんやお孫さんへのお土産付で、帰宅後大変喜ばれています。



## 7. 卓球クラブ

日立体育館で毎月3回各3時間の卓球練習を行っています。足腰の運動機能を鍛えるだけでなくゲームの戦略等の知的な部分もあり、健康増進に役立ちます。休憩時間にはコミュニケーションを楽しみ、親睦を図っています。最近、少し球速が遅いラージボール(直径44mm)での大会が増えたこともあり、このボールで練習する会員も増えました。対外試合では個人や団体として参加し、良い成績を残しています。



## 同好会活動報告 (2/2)

### 8. デジカメクラブ

毎月第一月曜日の例会と、不定期の撮影会を行っています。例会では参加者の作品について撮影意図、条件などを発表、構図や配色など自由に意見交換し、お互いに撮影技術や感性の向上に努めています。被写体は多種にわたり、撮影対象の話題も豊富です。

平成24年度の撮影会は山形置賜、須賀川、鎌倉、東京、大洗、鹿島、平泉、常陸大子、南房総などで実施、写真撮影だけでなく会員間の交流、旅行を楽しんでいます。

活動の成果は12月に多賀市民プラザでデジカメ写真展を開催、今年度は鉄道模型も展示し大人から子供まで人気でした。



### 9. 写真五七五

俳句・川柳と写真を組合せて楽しむ集まりです。毎月第一金曜日の例会では句作の基本や季語、参考句の解説、プロの添削例などを参考にしながら、持ち寄った作品の紹介と合評を11回行いました。

合評では作品に対する各人の見方がそのまま活発な意見交換となり、新たな視点に気付かされます。

また、5月には奥の細道ゆかりの須賀川を探訪して芭蕉の足跡をたどり、牡丹園や満開の大桑原つつじ園にも足を延ばして作品づくりを行いました。須賀川はまだ震災の傷跡が生々しく、一日も早い復興を願いました。

12月にはデジカメクラブ、野鳥・自然観察グループとの合同写真展に38作品を出展しました。



### 10. ホームページの会

ホームページ・ビルダーを使用してホームページ作成、更新、公開することを目的に研修しています。

各人が持ち寄ったページ作成時や更新時に発生した問題について、講師の解説や、参加者の体験談から解決の糸口をつかむことができます。

更に、更新したページの紹介、参考になるホームページの紹介、動画やムービーの取込みなど新しい技術の紹介を始め、パソコン技術全般について、サロンのような雰囲気でお話し合っています。

新しくホームページを始めたい方へのアドバイスもしておりますので、気軽に参加ください。



### 11. PC基礎講座

パソコン基礎講座は毎月第2火曜日に開催しています。Windowsの基礎、Officeの基礎、各種ソフト紹介、何でも相談など、ニーズに応じて講座を運営しています。どうぞ参加ください。



### 12. 勝田パソコン教室

ワークプラザ勝田・パソコン教室で、毎月1回、原則として第4火曜日に開催しております。主に水戸勝田地区の方々を対象に、パソコンの基礎から応用まで幅広く講義を行っています。

その内容は、①Gメールの操作 ②ウィンドウズ8の紹介 ③画像含めフリーソフトの使用法 ④ウイルスに関する対策などです。また、PCに関する「何でも相談」を常時行っており好評を得ています。

毎回10名以上の参加があり、初心者の方も大歓迎です。多数の参加をお待ちしております。



### 13. シニアパソコンの会

毎月第3月曜日に開催します。初級講座・入門講座として始めたものです。特に高齢者向けの実践的な内容を計画しております。現在、主にワードやエクセルを勉強中で、

出来るだけ各自でパソコンを操作しながら勉強します。お誘いあわせてご参加ください。



### 14. 専門講座

この講座は特定のソフトの習得を目的として、会員を募り、設定した教本をベースに、受講者による輪講形式で進めるものです。毎月1回の勉強会です。

平成24年はPhotoshop CS3 (参加者16名) およびDreamweaver CS3 (参加者12名) を実施しました。現在、第3金曜日はFireworks CS3 (参加者12名)、第4木曜日はDreamweaver 実践講座 (参加者13名) を開催中です。

この他1日の特別講座として、新規購入したパソコンを使用してWindows8の講座を実施しました。



(特別講座 Windows 8 講座に参加の皆さん)

同好会行事に参加して



「写真五七五」

飯田 宏

会長の八巻さんから誘われ一昨年6月に入会した。それまでは野の花の名前を覚えるため、花の写真を撮って短歌を詠んでいたが、俳句作りは未経験であった。俳句は短歌に比べて季語を詠み込むなど規則が厳しい。初めのうちはそんな規則も良く知らず、季語がないとか、2つあるなど似て非なる575を作ったり、「や」や「かな」の切字を使うと何となく俳句が出来たと思ったりしていた。しかし、例会で作品を鑑賞し、会員の批評を拝聴しているうちに、自然に俳句が作れるようになった気がする。最近では歳時記を見ながら季語の有無を確認すると共に適切な季語を選択するようになっている。意外に苦勞するのが句の題材となる写真である。

とりあえず、毎月最低3枚の写真を選べる必要がある。このため、カメラを携えながら町中や野山を散策している。俳句になりそうな情景に出会うと嬉しくなる。そして、指折りして文字数を確認しながら句を選んで、何となく俳句らしきものを捻出すると、この生乾きの俳句を念仏のように唱えて帰宅する。しかし、やおら句を書いてみると大概しっとりとした感じになっていない。そこで、持てる語彙力と表現力を総動員して、やっと俳句を完成させることになる。そうすると、ちょっと大げさな表現だが創造の喜びを感じる。

俳句作りも一種の「ものづくり」だと思う。勿論、それが他人の観賞に耐えるものであるかは別だが、本人が満足すればそれで良いのではと思っている。

これが、入会2年目の筆者の作句への取り組み姿勢といったところである。



「ホームページの会」

高橋 昌也

HPの会に入会したのは、平成19年8月。当時水戸植物公園で園芸ボランティアをしながら、ボランティアグループのHPを立ち上げて5年経ちさらに高度な表現方法を習得しようと決意しHPの会に入会した。

ホームページ・ビルダー(ソフト)を購入しその操作習熟のため会員から熱心な指導を頂きながら現在に至っている。HPも入会時は単写真に解説文を配置することが主体であったが、写真アルバム、アルバムから1枚毎の額入り写真のクローズアップ、スライドショー、静止画像の動画化、ロールオーバー効果、地図の

取り込み、BGMなどの技法を使い、現在3本のHPを維持管理している。HPの例会には毎回参加するようにしている。会員から提出されたHPに関するトラブルを会員の経験、知恵を出し合い解決に向かうことは感動的である。また会員のHPの紹介、興味あるHPを見つけて、その紹介は参考になる。

最近会員のHPを見ると、会員の趣味、旅行記、作品発表、紀行文、エッセイなど実に多種多様である。以前は画像映像技術を競い人目を如何に惹きつけるかを競っていたが、最近は紀行文、エッセイも多くなり作者の考え方が滲み出ている作品が多くなっている。画像技術上達のおかげで、きれいな良い画像が見られるほかに文章力も加わり作者の円熟味(年輪)が感じられる作品が多くなってきた。人生を楽しもう。

「歩こう会」「レンタサイクルで走破」

佐藤 清仁



歩こう会ではいつも丁寧なご案内をいただき有難い。楽しみのひとつは皆さんの話の中から興味ある話を見出すこと。

その話が私の中でどんな展開をするのかも楽しみである。以前、会員のYさんから「瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ」に参加したお話を聞いた。私も急に歩いてみたくなかったが、独りでは携行する荷物のことを考えると無理、サイクリングなら一日で走破できそうなので挑戦を試みた。起点は尾道市とし、向島、因島、生口島、大三島、伯方島、大島などを経て今治市へのルートにした。

2012/3/28尾道のホテルを出発。午前8時レンタサイクルを借り渡船で向島へ。行程約70km、サイクリング所要時間は、体力に自信のある方5~6時間、初心者で約8~10時間とあり、私は9時間を目標にスタートした。島内の道路は道標が適宜設置され、自転車専用レーンがあり安全で迷うこともなく、天候にも恵まれて爽やかな風を受けて瀬戸内海の景色を眺めながら気持ちよく走行できた。

携行の荷物は極力減らしたが、これを自転車のカゴの中に入れて前重心すぎてハンドル操作がまずく、リュックで背負うと重心が高すぎて走行はふらつき危険。結局カゴとリュックにバランスよく分けた。当日は最大の敵である「空気抵抗」が逆風。計画ではこの時期順風だろうと調べもせず想定したことが仇となり、一日中逆風に悩まされた。ゴールに近づくにつれて、疲れとレンタサイクルの重さも気になり、長い橋の上では、中央までの緩い登り勾配でも逆風に降参したが、今治には17時ゴールを果たせた。

支部からの お知らせ

\*第62-2回 日立社友クラブ理事会報告

1. 会員候補者から133名が入会を承認され、会員数は5,519名となった。

\*平成25年3月 茨城支部役員会報告

1. 新入会員8名が承認され3月31日現在の会員数は1,077名となった。

2. 計報の連絡先について、今後支部ホームページに掲載して周知徹底することになった。

3. 日立グループ傘下の有力運動部を茨城支部として

も応援支援することになった。今後、茨ネットを通じて競技日程や開催場所、時間等の情報を流しますので、会員の皆様の応援をよろしく願います。

計 報



社友クラブ理事長の金井務氏(元社長、元経団連副会長)におかれましては、3月19日くも膜下出血のためご逝去されました。享年84歳。

ここに深く哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り致します。

お別れの会は4月23日(火)正午から東京・ホテルニューオータニで行われます。

## 同好会の行事ご案内 (5月～7月)

### 1. 第53回歩こう会 【逆川緑地から県庁】

今回は水戸市逆川緑地を選びました。光園開発の笠原水道水源地を歩き、最終地は県庁で25階の眺望と県警本部など県施設を見学します。

- ・開催日：平成 25年 6月 13日(木)  
雨天延期 6月 27日(木)
- ・集合：常磐線水戸駅南口 10:30 スタート  
JR時刻: 日立 9:43 多賀 9:48 大甕 9:53  
東海 9:59 勝田 10:09 水戸 10:14 着
- ・コース：水戸駅南口→千波湖→逆川緑地→逆川南端(昼食)→県庁施設見学(長谷川県議)→バスで水戸駅(自費 350円)へ  
15:00 解散(7.4km 平坦地)
- ・持参品：弁当、飲み物
- ・会費：200円(非会員はプラス 300円)
- ・申込締切：平成 25年 6月 6日(木)
- ・申込先：垣貞玲吉 Tel/Fax. 029-274-1727  
E-mail:kakisada@ae.auone-net.jp

### 2. 第56回研修会

#### 【館林市の日清製粉記念館と正田醤油他の見学】

館林市発祥の(株)日清製粉の製粉ミュージアムとその本家筋にあたる正田醤油(株)館林東工場及び、正田記念館を見学します。

また、館林市出身の作家田山花袋の記念文学館と旧居、宇宙飛行士向井千秋記念科学館なども見学します。皆様の参加をお待ち致しております。

- ・開催日：平成 25年 6月 20日(木)
- ・集合場所・発車時刻：  
JR 大甕駅(常陽銀行大甕支店前) 7:00  
(JR上り 6:51着、下り 6:52着)  
日立南ドライブイン 7:10
- ・帰着：大甕駅前 17:30 頃の前定
- ・会費：4,500円予定(バス、昼食代、他)
- ・募集人員：先着 40名
- ・申込締切：5月 15日
- ・申込先：石田 和夫 Tel/Fax : 0294-34-0209  
E-mail : ishida.kazuo@nifty.com

### 3. 定例行事予定一覧 (開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡致します。)

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場 所	時 間	備 考
		5月	6月	7月			
野鳥自然観察グループ	城戸勝弘 0294-39-2119 kkido@kxd.biglobe.ne.jp	20(月)			大北川	9:00～	参加費:¥200/回 原則雨天中止
			17(月)		御前山	7:00～	
				15(月)	粟原	7:00～	
囲碁の会	日立地区 助川一弥 0294-24-3768 kazy.sukegawa@net1.jway.ne.jp	8(水)	12(水) 大会	10(水)	同好会本部	10:00～ (9:30～)	参加費:¥100/回 大会:¥1500
		22(水)	26(水)	24(水)			
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	16(木)	20(木)	18(木) 大会	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費:¥200/回 大会:¥700
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	13(月)	10(月)	8(月)	明治商会	10:00～	参加費:¥1600/回
		27(月)	24(月)	22(月)			
卓球クラブ	綿引邦彦 0294-37-1491 perroygato4923@net1.jway.ne.jp	1、8、 15(水)	5、12、 19(水)	3、10、 17(水)	会瀬体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ:¥2500/年
デジカメクラブ	高原邦明 0294-53-7101 k-takahara@rio.odn.ne.jp	13(月)	3(月)	1(月)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
写真五七五	八巻秀雄 0294-34-4173 yamaki@green.ocn.ne.jp	10(金)	7(金)	5(金)	大久保交流センター	9:00～ 12:00	参加費:¥300/回 昼食別途
パソコングループ	HPの会 中村 進 0294-52-5525 ssm2332@knh.biglobe.ne.jp	7(火)	4(火)	2(木)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
	基礎講座 山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	14(火)	11(火)	9(火)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
	勝田地区 渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	28(火)	25(火)	23(火)	ひたちなか市ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費:¥700/回
	シニアパソコン 山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	20(月)	17(月)	15(月)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
	Fireworks勉強会 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	17(金)	21(金)	19(金)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む
	Dreamweaver実践講座		23(木)	27(木)	25(木)	同好会本部	10:00～ 15:00

**編集後記** 先月急逝されました金井理事長に謹んで哀悼の意を表します。荒井さんの格調高い随筆にポルトガルへの旅愁を誘われたのは私だけでしょうか。今野さんの体験談では、元日立マンらしい誠の精神による社会貢献活動に敬意を表します。 **長島 重和**

**訃報** 真に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。衷心よりご冥福をお祈り致します。

鹿島 芳丈 平成 25年 1月 18日 享年 75歳  
加藤 洋明 平成 25年 2月 13日 享年 79歳